

教職資格科目「総合演習」におけるインターネット活用 —平和の文化に関する取り組みから—

瀧口 優

1. はじめに

教職資格科目には様々なものがあり、それぞれに授業の工夫が求められる。ここでは今年度和光大学で実施した「総合演習」におけるコンピューターの活用について報告したい。決して特別な工夫ではなく、インターネットが使えれば誰でも取り組めるものである。

ただし条件として毎週の授業がコンピューターを使えるということになるので、その条件をクリ

アしてということをお願いしたい。

2. 平和の文化関連団体を探す

総合的な学習を行うにあたっては、様々な外部の情報を持つことが必要になってくる。中学や高校の現場においては環境問題や人権、平和あるいは産業関係など幅広いネットワークの中で生徒の様々な要求にこたえることが必要となる。昨今の情勢の中で、平和に関することをテーマにする子

平和の文化関連団体資料

NO. ()

団体名				読み方			
〒	住所						
電話				F X			
HP				メール			
組織	1. 政府 2. 国連 3. 非政府 4. マスコミ 5. 国際 6. その他 ()						
分野	1. 広報 2. 運動 3. 研究 4. その他 ()						
専門	1. 平和 2. 人権 3. 社会 4. 救援 5. 交流 6. 外交 7. 芸術 8. 環境 9. 政治 10. 女性 11. 教育 12. 外国語 13. 心理 14. 社会 15. その他 ()						
特徴 50 字							
担当者 の コ メ ン ト							

どもたちも増え、その情報源も求められている。

そこで「総合演習」の授業では、そうしたソース作りを柱の一つに据えた。様々な雑誌や新聞、本などから日常的に関連する団体を調べておき、その名前と住所などを一覧にしておく。それをエクセルで一覧表に組みなおし、授業ではそのホームページをさがして、団体の特徴や活動などを書き出させることにする。

まず授業のはじめに、その日調べてもらう団体名をホワイトボードに書き出す。学生の数だけ書いておけば、全員が何らかの調査をすることになる。学生は団体名をたよりにyahooなどを使って検索を始める。早い学生はすぐに探し出せるが、団体名が曖昧だったりするとなかなか目的とする団体が出てこない。また、全ての団体がホームページを持っているとは限らないので、様々な角度から検索させる。調べた結果どうしても「わからない」という団体も出てくる。その場合は新しい団体を選んでもらう。

担当者はホームページを読みながら、また探しながら上記のプリントに書き込む情報を集める。組織・分野・専門については学生もなかなか分類できず、こちらで巡回しながら一緒に考えるように

している。

3. 一覧表作成と活用

1回の授業で20枚程度の団体調査表が手元に届く。それを次の授業までに作成した表に書き込んでいく。3回ほど繰り返したところでその一覧表を学生に配布する。「特徴50字程度」については、担当者の名前を入れて一覧表を作成するので、できれば良いものが誰のものであるかわかるようになっていく。すると次回からはみんな更に集中してプリントの作成に情熱を注ぐことになる。

半期で12回の授業のうち、実際にこの団体調査を行ったのは5回ほどであるが、それで集まってきたものをコンピューターに入れ、プリントアウトして冊子にする。それを配布しておもむろに、この中から一つ選んで授業の終わりまでに直接その団体に接触してレポートをまとめることと提示した。「連絡をとれば歓迎されるよ」とアドバイスすると何とか自分の担当したところに連絡をとる。

学生たちは電話でインタビューをしたり、実際に訪問してその結果をレポートにまとめる。(以下は調査した団体名とその特徴などの一部)

番号	団体名	組織	分野	専門	特徴
9	アジア太平洋資料センター	非政府	広報	交流	南と北の人々が対等かつ平等に生きる事のできるオルタナティブな社会をつくるべく多岐にわたる活動を繰り返している。(SJ)
15	アムネスティインターナショナル日本	非政府	運動	救援	世界人権宣言が守られる社会の実現をめざし、国境を越えて声を上げている、国際的な人権団体 (TO)
16	アンネ・フランク資料館	非政府	広報	平和	生前のアンネのアルバムから、生涯にわたる写真、ホロコーストの写真、アンネの形見やフランク氏のものが貴重な資料として保管してある (KA)
22	エクパットジャパン	非政府	運動	人権	子ども買春・子どもポルノ・性目的の子どもの人身売買を根絶するために行動する組織と個人の世界的なネットワークです (MA)
24	NGO 活動推進センター	非政府	運動	救援	開発問題、人権問題、環境問題、平和問題など、「非営利」の立場で活動する (HA)
38	オスロ国際平和研究所	国際	研究	平和	戦争と平和についての学際的研究は19世紀に端を発しているが、世界的な高まりを見せたのは第二次世界大戦後である (MA)

番号	団体名	組織	分野	専門	特徴
38	オスロ国際平和研究所	国際	研究	平和	戦争と平和についての学際的研究は19世紀に端を発しているが、世界的な高まりを見せたのは第二次世界大戦後である (MA)
43	川崎市平和館	自治体	広報	平和	展示や交流を通して平和を愛し、豊かな心を育み、平和への新たな活動につながる場を願って作られた施設です (YD)
49	グリーンピース・ジャパン	非政府	運動	環境	核問題、ダイオキシンなどの有害物質問題、地球温暖化問題などの分野で地球の環境を守る、環境保護活動をすすめる団体である (MY)
52	ケアジャパン(財)	非政府	運動	救援	開発途上国において貧困や災害に苦しむ人々の自助努力の支援と、持続的発展を目標に活動している世界的な財団である (OB)
56	憲法改悪阻止各界連絡会議	非政府	運動	平和	日本国憲法の蹂躪に反対し、憲法の改悪を阻止することを目的とした様々な活動を行っている会である (SJ)
59	国際協力事業団	非政府	運動	救援	開発途上地域等の経済及び社会の発展に寄与し、国際協力の促進に資することを目的とする特殊法人 (ND)
62	国際熱帯木材機関	国連	運動	環境	熱帯材保有国の環境保全と熱帯木材貿易の促進を両立させることに意義を追及する。1986年に設立された (UE)
68	国際連合児童基金駐日事務所	国連	広報	救援	世界中の子ども達のために活動する国際連合の中のひとつの機関で、保健・教育等の支援事業を政府やNGOと協力して行っている (MO)
74	子どもの人権・埼玉ネット	非政府	運動	人権	1990年設立。子供の権利条約や学校問題 (いじめ、体罰など)を取り扱う学習会などを開いている。行政へもアプローチしている (MY)
82	C.P.I. 教育文化交流推進委員会	非政府	運動	救援	日本生れのNGO。スリランカとインドネシアで現地の団体と協力して教育支援、教育開発等を行っている (OS)
83	JHP 学校をつくる会	非政府	運動	救援	カンボジアに学校をつくるために1997年に創立。現在、世界の紛争地域の教育権利を奪われている子どもたちの為に活動している (MY)
102	新日本婦人の会	非政府	運動	女性	平塚らいちょうらの呼びかけで作られた女性団体で、男女平等をめざし、くらしやすい平和を守るため、世界と連帯している (MY)
104	スクールセクシャルハラスメント防止全国ネットワーク	非政府	運動	人権	ワークショップ形式で、5～6人のグループで話し合いながら、重たいテーマを和やかにすすめる。(IM)
107	青年海外協力隊	非政府	運動	救援	開発途上地域の住民と一体となって当該地域の経済及び社会の発展に協力することを目的とする海外での青年活動を促進する団体 (IM)
112	全国障害者問題研究会	非政府	研究	教育	障害者の人間としての発達と権利を守ることを主題として活動をはじめた団体で、障害者以外からも多数の参加者がいる (ND)
120	第五福竜丸保存委員会	非政府	運動	平和	昭和29年、漁船第五福竜丸はビキニ環礁付近でアメリカの水爆実験に遭遇。その核の恐ろしさを世間に理解してもらうべく昭和51年開館 (MY)

番号	団体名	組織	分野	専門	特 徴
121	第2回つくる会	非政府	運動	人権	子どもの権利条約に関する政府報告書に対して、NGOとしての反論書を届けるために設立された (ST)
122	チェルノブイリ子ども基金	非政府	運動	救援	チェルノブイリおよびその他の核汚染被災地の子どもたちの救援を主な目的として、様々な活動を続けている (CY)
123	地球環境平和財団	非政府	広報	環境	子どもから大人まで誰でも参加でき、地球環境と平和について学び、行動を起こすことをめざし、活動している (OS)
128	D・C・I日本支部	非政府	運動	人権	子どもの権利を擁護、発展させていくことを目的とする世界規模の市民団体。子どもの権利条約が各国で守られているかを監視する (HY)
136	東京反核医師の会	非政府	運動	平和	核兵器廃絶を目指す医師、医学者集団。国際反核医師の会に参加して、世界の医師と連帯している (OB)
139	毒ガス島歴史研究所	非政府	研究	平和	戦争の被害・加害の真実を広く伝える平和研究機関として平和と人権を守る運動、ならびに大久野島の戦争遺跡の保存運動を推進 (KN)
141	長崎原爆資料館	非政府	広報	平和	大型の原爆被災資料や被爆直後の長崎の惨状が再現され、また映像資料を利用したわかりやすい解説も行なわれている (IM)
162	日本国際ボランティアセンター	非政府	運動	救援	「ものをあげない」「先進技術を持ち込まない」「文化を押し付けない」 (AK)
166	日本宗教者平和協議会	非政府	運動	平和	仏教、キリスト教、神道、新宗教等の宗教者が、信仰の違いを超えて、世界の平和と人類の幸福に寄与するため、団結し活動する運動体 (OS)
169	日本赤十字社	非政府	運動	人権	1877年(明治10年)博愛社として創立。2003年現在、国際救援活動、国内の災害救援活動、救急法などの普及を行なっている (ST)
172	日本の戦争責任資料センター	非政府	広報	平和	日本が行なった戦争犯罪の実態を解明し、戦争責任と補償の課題について研究する日本で唯一の非営利団体組織 (MO)
174	日本ハグ平和アピール運動	非政府	運動	平和	もともとはハグ世界平和市民会議で、その日本版です。平和運動をかなり国際的に行なっており、国連との関係も深いです (ST)
176	日本母親大会連絡会	非政府	運動	女性	母親、女性の願い、子どもたちの幸せのために、思想信条を越えて色々な立場の女性たちが集まり、智慧を寄せ合って励みます (CY)
177	日本フィリピンボランティア協会	非政府	運動	救援	フィリピン各地の教育・環境・福祉・医療・文化・交流等の草の根活動を実践している。日本とフィリピンの相互の課題を見つめ、解消に向け実践する活動を推進している (YD)
189	日本ユネスコ協会連盟	非政府	運動	教育	ユネスコは国際連合教育科学文化機関を意味し、国連の専門機関として、共に生きる平和な地球社会の実現をめざす (MY)
195	ピースボート	非政府	運動	平和	各寄港地のNGOや学生たちと交流しながら、国と国との利害関係とはちがった草の根のつながりを創って行くことが特徴です (KN)
198	広島原爆資料館(平和祈念資料館)	非政府	広報	平和	広島原爆資料館。被害者の遺品などの資料を集めている。平和イベントなども随時企画されている (ND)

番号	団体名	組織	分野	専門	特 徴
213	平和資料館・草の家	非政府	広報	平和	次の世代に戦争の実相と平和の尊さを伝えるのを目的とし、また環境破壊を現代の戦争ととらえ地球的規模の活動を行っている (MO)
223	ペシャワール会	非政府	運動	救援	会員の会費に支援され、現地での医療活動を主にやり、さらに水源確保、農業計画、食糧配給も行なっている (AK)
230	ホロコースト・ミュージアム	非政府	運動	人権	ホロコーストとはユダヤ人大虐殺のことである。ワシントン DC にあるミュージアムは大虐殺の衝撃的な事実を淡々と展示している (YD)
242	立命館大学国際平和ミュージアム	学校	広報	平和	大学が持つ世界で唯一の総合的な平和博物館であるというのが最大の特徴であり、1992年の開館以来20万人が訪れている (S.J)

<訪問調査レポートより>

川崎市平和館

川崎市平和館は、川崎市中原区の元住吉駅と武蔵小杉駅から歩いて約十分くらいのところにある、川崎市平和公園内にある。広大な公園の中に二階建ての無料の小さな博物館である。

川崎市は昭和57年6月8日に核兵器廃絶平和都市宣言を出した都市である。市内の公民館などでは平和教育学級が開かれたり、平和への取り組みが盛んに行われている。川崎市平和公園は、戦後の極東最大の米軍印刷工場跡地にでき、その中に1992年平和のための博物館として平和館が建てられた。(中略)

私が平和館に行ってみて一番印象に残っているのは、川崎大空襲の映像を見て、その中で、実際の空襲経験者がおっしゃっていた「地獄を見ているようだった」という言葉である。川崎は戦時中、京浜工業地帯や南武線沿線に多くの軍需工場があったため、1945年4月15日から約20回もの空爆を受けた。(以下略) (YD)

4. CPNNの取り組み

2000年が国連の定めた「平和の文化国際年」であり、2001年から2010年が「世界の子どものための平和と非暴力の文化国際10年」として位置づいている。その10年において中心的に取り組まれることの 하나가 CPNN (平和の文化ニュース

ネットワーク) である。ユネスコが支える形で各国で取り組まれ、日本でもCPNNの支部が作られている。

CPNNは、インターネットを通じて平和や非暴力についての記事を書き、それを掲示板に乗せてもらうことによってお互いの意見を理解しあうというのがねらいである。

授業では、まずメディアとニュースに別れて記事を書く。「メディア」は自分が最近見た映画やビデオ、TV番組などについて平和の視点からコメントを書くものである。同様に「ニュース」は最近自分の回りで起こっている出来事をもとにして、それに対する意見を書くというもので、学生は思い思いに書き綴っていく。

書き終わった学生はそれをメールで私のコンピュータに送り、私が読んでコメントとピースキーを書き込んでから CPNN のホームページに送る。数日してHPを覗くと学生の書いた作品がアップされ、全国からアクセスされることになる。

映画 「レインマン」

1988・アメリカ

監督・バリー・レビンソン

DVD発売中

レポーター:YD

先日映画レインマンを見た。この映画は自閉症者の兄とその弟が主人公で、お互いに存

在を知らなかった兄弟が少しの間旅をする。弟を演じるトム・クルーズは初めは財産目当てで旅に連れ出す。ところが目的地に着いたころは兄を引き取りたいと言い出すのである。

兄は障害を持っていても昔少しの間だけ一緒に暮らしてた小さかった弟を覚えていたのである。私は自閉症者と関わるアルバイトをしているので、自閉症者を演じているダスティン・ホフマンがとてよく観察されていると感じた。私はこのバイトをするまで電車の中や町などで変わった声を出したりおかしい行動をしたりしている人を明らかに「何この人変、恐い」というような目で見ている。それが今は少し変わった。自閉症やその他の様々な障害者とその家族や周りの人にとってそうした視線というものがどれほどつらいものかということをお私自閉症者が暮らすグループホームで元気に生活する利用者たちを見ていてそう思った。すべての人が違いを受け入れ障害者もそうでない人もあたりまえのように生活できる世の中になればよいと思う。

モデレーターのコメント

人と違うだけで差別されたり、変な思いで見られるということがあります。映画でこうしたことをテーマにして考えさせることは大切ですね。内容もわかりやすく書かれています。

ピースキー

(1)生命の尊重 (4)傾聴

8つのピースキー：(1)生命の尊重 (2)非暴力 (3)助け合い (4)傾聴 (5)地球を守る (6)寛容と連帯 (7)男女の平等 (8)民主主義

5. 総合演習とコンピューター

—まとめにかえて—

突然にコンピューター室が準備され、十分な準備もなく始めた総合演習であるが、半期4ヶ月経つと様々な授業内容を展開していることが見えてくる。とりわけ様々な団体を調べて一覧を作成することは、教育の現場に新たに足を踏み入れる学生にとってはとても有意義な内容で、これを手がかりに「環境」「くらし」「人権」など幅広く集めておくと、中学校や高校の授業では大きな力を発揮するであろう。現場に入ってしまうと様々な研修や校務で、時間がとられ、このような調査を時間をかけて行うことができないからである。

また、CPNNについては、英語のサイトもあり、英語の授業で読み取りながら日本語を作成したり、直接英語を書いて英語のサイトに送ることも可能である。もちろんロシア語や中国語などもそれぞれの国で開かれており、多様な外国語を学ぶという観点から学校現場で取り上げることもできる。課題としては、書かれたものをチェックしてCPNNのホームページに送るモデレーターがまだまだ少ないこと、原稿を書く人がまだまだ少ないこと、そして送られてきた原稿をホームページに載せるスタッフが少ないことである。

*CPNN日本語のホームページ:

<http://www.wako.ac.jp/~itot/cpnn/>

*CPNN英語のホームページ:

<http://www.cpnng.org/>

まだまだ情報機器の使い方としては初歩的であるが、一つの授業実践として読み取っていただき、提言などいただければ幸いである。

(たきぐち まさる)